

目指せ

100億企業

「売上高10億円の企
業と100億円を超え
てもらいたい。若く
優秀な技術者が入り、
用途開発などポテンシ
ヤルが上がっている。
大きな目標を立てて社
員一丸で進みたい。実
際に毎年25%ずつ売上
高が伸びている。これ
を続ければ100億円
に達する」
— 企業買収で事業を
伸ばしています。
「シナジーが見込め、
経営が安定し、事業承
継に難があるところに

櫻製作所(大阪市淀川区、井上正基社長は、
食品や化学プラントで使うオンレーター(か
き取り式熱交換器)など各種装置の製造が主
業務。井上社長は2013年に就任後、会社の
建て直しや海外事業を進めた。さらに商社で
鍛えた才覚と若手社員の力によるドライアイ
ス製造機の開発や新会社設立、企業買収でグ
ループの成長を加速している。35年3月期の
達成を目指す「100億宣言」は、成長への
手応えを得て社内外に意欲を示したものだ。
(さいたま総局長・石橋弘彰)

「100億宣言をし
る企業はレベル感や給
与が違つ。レベルアッ
プで社員に良い思いを
してもらいたい。若く
優秀な技術者が入り、
用途開発などポテンシ
ヤルが上がっている。
大きな目標を立てて社
員一丸で進みたい。実
際に毎年25%ずつ売上
高が伸びている。これ
を続ければ100億円
に達する」
— 企業買収で事業を
伸ばしています。
「シナジーが見込め、
経営が安定し、事業承
継に難があるところに

東日本・西日本

櫻製作所

社長 井上 正基氏

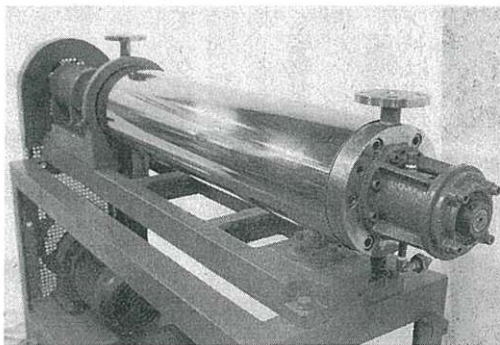


はグループに加わって
もらい一緒に成長した
も助成金などの制度を
い。直近3年で2社買
活用し積極的に買収を
収し、実際にその企業
仕掛ける。新会社はド
の売上高が伸びてい
ライアイスを扱う物流
る。今後も技術、販路
や製品の派生形を設け
でシナジーがあればグ
たい。新会社の経営は
ループに欲しい。直接
人材育成に役立つ」
関係なさそうでも、建
「成長への課題は。
設備機械レンタルの光
産業(大阪府豊中市) 題。急速な成長でキャ
は金融面でシナジーが
パシティーが欲しい。
あつた。特殊継手のT
akeda Work 加えてグループ化した
s(同門真市)は販路
企業と製造拠点を一体
が重なり、順調に事業
後には人材。採用は他社

M
&Aで「レベルアップ」

若手が活躍 ドライアイス機

主力製品のオンレーター



より苦労はしていない
ものの優秀な技術者が
必要だ。ドライアイス
製造機も若い技術者の
アイデアが実現した。
こうした良い事例を増
やしたい。人を引き留
める魅力ある制度を整
え、抱え込む」
— 売上高100億円
達成の手応えは。

「達成は見えている。もう半分はM&Aとグ
23度は売上高が対前年
度7・8%増を拡大したい。海外売
で、ほぼ毎年 上高比率は2割を目指
2割ずつ伸び、必要な人材を採用
している。そこし育成する。役割をし
にM&A(合 つかり持たせて仕事を
併・買収)でも設けたい。特に東南
加速度的な成 也設けたい。特に東南
長ができてい アジアは有望だ。オン
る。この成長 レーターを使うパーム
を続けられ1 オイルがある。食品の
00億円は十 ニーズも生活水準の向
分射程にあ 上で変わっており、得
る。半分はオ 意な技術が生きる」
(随時掲載)

【企業データ】1946年創業で設立は52
年。オンレーターは古くからある製品な
がら、脱炭素ニーズに対応し旧来の製品
の用途開発を進めている。火力発電所
では二酸化炭素(CO₂)回収にアミン溶
液を使う。そのアミンの回収や液化天然
ガス(LNG)の気化熱をドライアイス
化する取り組みで使われ始めた。ドライ
アイス製造機は、冷却ジャケットなどの
猛暑対策や脱炭素に役立つ点で注目され
る。顧客の「現場の困りごと」を解決し
信頼を得ることが信条。社員数は約60
人。25年3月期の売上高は10億2000万
円。